



2021年1月7日

**ボディビル大会「マッスルゲート」「Gold Gym Japan Cup」に
本学学生2名が出場し、入賞しました。**

<概要>

札幌・福岡・神戸・石川・東京で行われたボディビル大会「マッスルゲート」、トップレベル選手のみ参加可能な「Gold Gym Japan Cup」にて本学学生2名が入賞しました。

マッスルゲート・ゴールドジムジャパンカップ HP

<https://www.thinkgroup.co.jp/musclegate/>

<詳細>

■機械工学専攻

博士前期課程 2年 腰 晴喜

・11月15日開催

「マッスルゲート石川大会」

メンズフィジーク 172cm以下級

優勝

・11月29日開催

「Gold Gym Japan Cup」

メンズフィジーク 172cm以下級

準優勝



■建築・都市システム学専攻

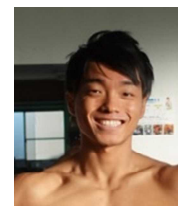
博士前期課程 1年 毛利 智明

マッスルゲート石川大会 クラシックフィジーク 168cm以下級

準優勝

Gold Gym Japan Cup クラシックフィジーク 168cm以下級

4位



<学生からのコメント>

腰さんより：

幼い頃から、少年漫画での逞しいキャラが好きだったことや、小学生時に肥満体型でコンプレックスがありました。部活動で行っていた水泳・水球で肌を露出する機会が多く筋肉を鍛えてみたい憧れがありました。女性からモテたい気持ちもあり、トレーニングを行うきっかけとなりました。

トレーニングジムの知人が、ボディビルの大会に出場し、見事な肉体を披露している姿をみて、自身も大会への参加を希望することとなりました。

大会に向けて、去年の8月から減量を開始し、筋トレ・食事制限を行い、大会に挑みました。

毛利さんより：

もともと体を鍛えることに興味があり、高専5年でバスケット部を引退してから、筋トレを本格的に始めました。豊橋技術科学大学に3年次編入してからもトレーニングを続けていたのですが、私と同じグロー



腰 晴喜さん（中央）



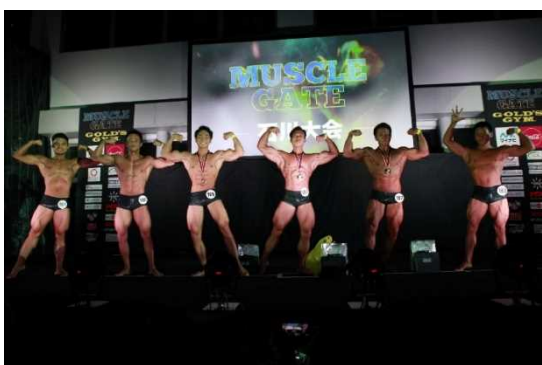
毛利 智明さん

バル技術科学アーキテクト養成コース履修生の先輩である腰さんと出会い、共にトレーニングを行っていましたが、腰さんから「大会を目指してみないか？」と誘われ、本気で大会を目指し始めました。

まず、筋肉を増量するトレーニングを行い、体重も増量し、その後は大会に向け6か月間減量を行いました。初めて挑んだ2019年のボディビル大会では予選敗退し、惨敗しましたが、多数の大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる中、マッスルゲートという大会が開催されることを知り、本格的に自分への追い込みをして大会に挑みました。好成績を収めることができ、とても嬉しい気持ちです。

2021年の大会へのトレーニングの準備も行い、更なる飛躍を目指します。

<大会の様子>



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 堤・高柳・杉村 TEL:0532-44-6506

写真素材などのご希望があれば、ご依頼ください。

※コロナ禍の状況にて、対面での取材は極力お控えいただきますようお願いいたします。